



## 平成 30 年度 自己評価結果

厚生労働省による放課後等デイサービスガイドラインに基づき、利用児の保護者と教室の職員を対象にアンケート調査を実施・集計し、事業所内で話し合いをした結果を公表いたします。

子どもの悩み事や相談事を聞いてほしい先生がいる時に利用したい。

- ・ 全体のバランスを含め、できる限り予定を調整させていただきます。

職員間の共通理解が異なっているように思える。

- ・ 年間を通し、利用児すべてのケース会議を設けております。それに伴い、職員間の共通理解を図りながら支援のあり方を検討しています。保護者に対してのお伝えに偏りがあったかと思われまます。今後、そのような事がないように担当職員が責任を持ち対応します。

利用児童数が多く指導員も多忙な様子で、話がしづらいつと感じる。

- ・ 送迎の時間が重なっていることもあり、また、立ち話では十分なお応えができない事が予測されます。随時相談はお受けしておりますが、定期的な面談などの頻度を増やし保護者との時間を設けられるよう検討します。

避難訓練を行っている事を知らなかったが、実施しているのであれば良かった。

- ・ 3 か月ごとに発行させていただいている「きりんだより」にて、訓練での様子をお伝えしています。引き続き、危機管理委員会、環境委員会を中心に緊急時マニュアル・防災マニュアルを周知し、避難訓練も行っていきます。

満足度について

- ・ 満足しているとの回答をたくさんいただきましたが、現在のサービス内容にとどまらず、今後もより良い支援の向上を目指します。

以上